

実り多い二学期に

校長 稲田 正平

8月26日に二学期がスタートしました。木崎中生の明るい声が校舎に響き、夏休みが終わり、二学期が始まったことを実感させてくれています。しかし例年と違うのは新型コロナウイルス感染症の感染が爆発的に拡大しているため、普通に授業を行うだけでなく、オンラインでの授業も行っています。このような事態は我々職員にとっても初めての経験です。本当にこの状況が一刻も早く収束に向かい、日常が戻ることを祈るばかりです。

さて、二学期は体育祭と合唱コンクールなど木崎中生が互いに協力し合って取り組む行事が目白押しです。私は始業式の際にこのような話を木崎中生にしました。

…中学校での生活の目的の一つに「自治力」を身に付けることが挙げられます。「自治」とは「自分で自分の問題を処理すること、学生や生徒が学校生活を自主的に運営していくこと」です。私たちは人と人との関わり合いの中で生きています。複数の人と関わり合いながらより良い生活を営むためには「自治」の力が大切になります。この自治の力を身に付けるには、①他の人と協働する集団生活でより良い人間関係をつくること ②自分と異なる考えや立場を尊重し認め合いながら協働すること ③進んで集団にある課題を理解し合意形成を図ってより良い解決策を決め取り組むこと 簡単に言うと、集団の生活をより良くするために、自分を取り巻く人との関係を良くし、折り合いをつけながら協力して活動していくことです。これらのことは体育祭や合唱コンクールの取り組みの中で経験することができるでしょう。皆さんがより良く成長するチャンスはこの二学期にたくさんあると思います。どうか各学級やまた各部活動でも意識して取り組んでみて下さい。皆さん一人ひとりが所属する集団がより良く向上していけば、木崎中がさらにいい学校になるはずですよ。二学期の皆さんの活躍を大いに期待しています。…

ここで話した「自治」だけでなく「自律」＝「自ら考え、自ら判断し、自ら決定し、自ら行動すること」も今の木崎中生に身に付けてもらいたい力だと思っています。学校ではさまざまな教育活動を行っていますが、体育祭や合唱コンクールなどの行事は特に「自治」や「自律」の育成に効果のあるものです。また上級生が活躍し学校をリードする姿に刺激されて「あの先輩のようになりたい」「自分もいつかはあのようになりたい」など、下級生が上級生から学ぶ良い機会でもあります。現在感染症の爆発的な拡大による非常事態宣言のために、四月当初に計画していた九月の体育祭を延期させていただきました。感染症の拡大により行事などを中止にしてしまうことは簡単ですが、学校で行うさまざまな行事はその有効性を考えると、簡単に中止できるものではありません。感染症の状況を注視しつつ、木崎中生にとって最善の方法を考えながら学校行事等を実施して、実り多い二学期にしたいと考えています。

引き続き、感染症予防の対策を強いられた生活となります。保護者の皆様、地域の皆様も十分に健康管理に留意してお過ごしください。また、夏季休業期間から行われている北校舎の外壁塗装工事も施工中です。北校舎や昇降口付近に足場が組まれ、立ち入り禁止区域も増えています。様々ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。